

10. 買い物支援調査事業

☞ 高齢化社会に向けた買い物支援事業の検討

【大樹町商工会】

地域の状況

■ 地域の概要

大樹町は、農林水の一次産業を基幹産業として発展してきましたが、高齢化率が30%を超えるなど、少子高齢化が進んでおり、郊外に無店舗地区が発生するなど商業の不振が進んでいます。

■ これまでの問題点

店舗の廃業など買い物環境の変化が日常の暮らしに大きな影響を与えることが予想されていました。

■ これまでの取組

商工会がTMOの受け皿となり、旧中心市街地活性化法の認定を受けた基本計画に沿って、TMO計画の認定を受け、ショッピングセンター事業やカード事業に取り組んだほか、ショッピングセンターに併設する経済センター(商工会館)が道の駅の認定を受けるなど、都市機能の拠点整備や商業の活性化に取り組んできました。

また、町では高齢者健康福祉計画などを策定して今後の高齢化社会に向けた対応に取り組んできました。



買い物バスの実証実験(十勝毎日新聞より)

事業内容

■ 本事業での取組

本事業では、地域住民の買い物にどのような不便があるのか、具体的な要望を把握し、解決方法を検討するための実証実験を行って買い物弱者対策事業の計画を策定することにしました。

実施した事業は次のとおりです。

- 市街地と3つの過疎地域を対象にアンケート調査による地域住民の買い物と商業の問題点の明確化
- 商業者や社会福祉協議会等の関係団体からのヒアリングによる情報提供と買い物弱者支援の状況把握
- 調査項目や調査方法を消費者協会、商業者、行政等で構成する運営委員会で検討
- 過疎地域の高齢者を対象とした買い物バス買い物代行、共同受注・配送の実証実験
- 先進地での取組事例調査

実証実験は、当初、移動店舗を考えていましたが、住民に対するアンケート調査の結果、「自分の目でみたい」、「配達をしてほしい」との意見が多数あったため、この結果を踏まえて「送迎」と「配達」をあわせた実証実験を行うこととしました。

■ 取組の中で生じた課題

アンケートでは、65歳以上の人を抽出して実施する予定でしたが、個人情報のため町からデータの提供を受けられなかったことから、町の広報誌や町内放送を使い、住民に対してアンケートの協力をお願いしましたが反応がない状態でした。

実証実験では、3地域で計30名の利用者を募集しましたが、応募は10名に止まり、1回の乗車人数も2~3名と少なく、買い物代行や配達も利用が低迷しており、事前のアンケート調査の内容とは乖離したものとなりました。また、車両費・人件費等の運営費の捻出についても課題となりました。

■ 取組に関する課題への対応

アンケートについては、農協に相談したところ、農協主催の「年金友の会」の集会でアンケート調査を実施させてもらうことができ200名から回答をいただきました。

買い物バスの利用者数がアンケート結果と乖離した原因については、アンケートでは「買物に不便を感じている」と回答した方が、実際は家族や近隣住民の協力のもと買物に行っていたことにあり、今後の事業化に向けた利用者数の確保について、対策を検討しています。

運営費の課題については、当初買い物バスの運行を町内のタクシー会社に委託し、会社保有のジャンボタクシーの活用を考えましたが、会社にジャンボタクシーが1台しかないこと、ジャンボタクシーの利用頻度が高く、買い物バスとして利用することができないことからタクシー会社への委託は断念しました。また、ワンボックスカーをレンタルし、ドライバーを雇用する形での事業運営も考えましたが、ドライバーの担い手不足等の問題でこれも断念しました。

■ 地域の関係者との連携体制（メンバー）

事業の実施にあたっては、大樹町、商業者の代表、社会福祉協議会、消費者協会、商工会に外部専門家を加えた運営委員会を設置して、アンケート調査や先進地視察、実証実験の結果などを検証し、事業を推進してきました。

また、他の事業を行う場合でも、上記メンバーが集まることが多く、体制構築にあたっては問題や課題はありませんでした。

今後の取組

実証実験を実施した結果、利用者の確保、車両費、人件費等の捻出など解決すべき多くの課題が明らかになり、商工会で買物支援事業を運営していくことは困難との結論になりましたが、現在でも多くの方が買物に不便を感じており、今後の高齢化の進展で更に増加することが予想されることから、引き続き、町や関係団体の支援や協力を受けながら、優先すべき支援・サービスの明確化、利用希望者の把握に加えて、参加店や取扱商品、車両等ハード整備、運営費の捻出、事業執行体制と利用者確保などについて検討を重ね、事業化に向けて協議していきたいと考えております。

今後の取組にあたっては、財政的な面では行政のバックアップを受けながら、商店自らが意識を改革し、地域に親しまれる努力を行い、商業の活性化を目指します。

「尾田・浜大樹・旭浜の皆様へ」

お買い物のお手伝いをします！

お買い物に不便を感じている皆様へ
お買い物にゆとりがほしい方にもぜひご利用ください

いろいろな事情で自由に買物ができずお困りの皆様へ、お手伝いさせていただきます。

大樹町商工会では、買い物弱者対策として北海道及び大樹町の支援を受け、平成25年1月中旬から2月下旬にかけて、担当するスタッフが定期的に「買い物バス」の運行および「御用聞き・宅配サービス」の試験運行を実施致します。

この事業に係る費用は一切かかりませんので、多くの方のご利用をお待ちしております。

利用したいと思う皆様は、別紙申込書に記入の上「区長様」が取りまとめさせていただくので申込願います。

- **利用される方** 高齢者の方や一人暮らしの老人の方を中心に考えておりますが、買い物に不便を感じている方ならどなたでもご利用頂けます。
- **宅配予定商品** 一般食料品 他
『協力店/コスモフード、すずき、オーブ薬局』
(ショッピングセンターコスモ内)
- **お買物お手伝い日** 1 2015年11月22日(月) 2015年11月27日(土)
後日利用者へ詳細をお知らせします。

お問合せ先 大樹町商工会まで
電話 01558-6-2126 FAX 01558-6-2127

大樹町商工会

【所在地】 〒089-2152 大樹町西本通 98 番地

【代表者名】 会長 三浦 祥嗣

【電話番号】 TEL 01558-6-2126 FAX 01558-6-2127

【HP】 <http://taiki-sci.jp/>

【運営委員会】 商業者2名、社会福祉協議会、消費者協会、大樹町、
(株)北菜経営研究所(外部専門家)、商工会